SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：医療法人社団誠療会　成尾整形外科病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・理念、基本方針に加え、行動目標であるクレド（信念）も策定し、周知・共有している。 ・人事考課にも取り入れ、職員自ら振り返り、実行できているかを確認する帰化を作っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守、コンプライアンスに関する研修を実施し、その重要性を職員へ教育している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・各部署の仕入れ価格、交渉に関しても統一した方向性で商談できるように事務部総務課が必ず関与・チェックするようにしている										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・当院が行う医療提供・情報提供に関して、その効果や利用者の動向、地域性などの分析を行っている。また広告・広報効果、それに対する意見・閲覧状況等の情報収集を行って管理している。 ・情報を集約する部署を設置している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		著作権等に関連するロゴ使用などについて、規定を設けて管理している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に関する研修を実施している。 ・個人情報保護に関する規定及び漏洩時の対応策を策定、明文化している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・利用者（患者）の意見を取り入れられるよう、施設内各所に投書箱を設置し、頂いた意見を各担当部署・担当者で検討し返答・対策している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・委託業者との業務提携において、廃棄物の管理、倫理面（ハラスメント）における管理・研修など実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・地震などの経験を踏まえ、BCPを策定している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	事業承継のための研修等を受け、検討・計画を進めている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などへの配慮、そして障碍者雇用等も積極的に進めている。 ・ハラスメントに関する研修を実施しており、相談窓口も設置し対応している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生委員会を設置し、職場環境（設備、物品等）の確認・指導・改善に取り組んでいる（定期的にラウンドしチェックを行っている）。 ・メンタルヘルスへの対応として、ストレスチェックを実施し、その結果に基づき必要に応じて産業医との面談ができる体制を整えている。また、メンタルヘルス研修（マネジメント研修）も実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態にかかわらず、同一労働同一賃金の原則に沿って、公正な待遇を取り入れている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・柔軟な勤務形態（短時間正社員、時短勤務など）を取り入れ、生活環境に応じた勤務ができるように対応している。また、リフレッシュ休暇（年5回）、有給休暇なども取得しやすい環境を整えている。 ・勤務業務負担軽減委員会を設置し、業務の効率化、分散などを検討している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職場全体での研修を年間を通して予定し実施している。 ・各職員の目標に応じ、研修への参加の支援（旅費・参加費補助、代休取得など）を行っている。 ・階層別研修により等級に応じた研修も実施・検討している。 ・奨学金制度を定めており、看護学生の支援を実施している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年の健康診断、メンタルヘルスケアを行っており、必要に応じた産業医の対応を行っている。 ・美力アップサークル（ヨガ・ピラティスなど）、運動系サークル等の活動支援を行い、業務外での職員の交流やリフレッシュの機会をつくっている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・経営・運営上の昇格・昇進、その他待遇に、人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・令和2年度より詳細者雇用を行っており、今後も積極的に行っていく。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウィズコロナでの新しい様式として、自院での会議および外部との面会・商談も積極的にWeb利用を行っている。 ・院内の部屋・デスクの配置、内部感染対策（パーテーション設置、換気、手指消毒設置など）を行っている。 ・テレワークの導入も検討している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・来院患者のオンライン認証や、熊本メディカルネットワークを利用し、自院の効率化だけでなく、利用者様にとっても利益のある取り組みを実施している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・感染性廃棄物、有害物質に関しては、適切に管理、処分を行っている。 ・県認可の委託業者の利用も取り入れている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、利用エネルギー量を算出し把握している。 ・自社の電気・ガス・水道使用量を公表し、全職員で使用量削減・ECOに取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、CO2排出量を算出し把握し、減少させる取り組みを適宜検討している。 ・ECOキャップ運動等の活動実施。 ・ペーパレス、再利用を推奨しており、電気・資源節約し温室効果ガスの排出の軽減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・施設内の緑化のため談話室等への観葉植物設置、サンルーム・施設周りの色か整備等を行っている。 ・事務用品などプラスチック製品の再利用、レジ袋有料化に合わせた使用量削減に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化に取り組み、裏紙の利用を促進している。 ・ファイル、封筒等の事務用品も可能な限り再利用を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」を心掛けるよう掲示等で促している。 ・地下水使用料・用途を把握し行政への報告を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・予定数をやや少なめに見積もる(急遽ｷｬﾝｾﾙのﾛｽを防ぐ)。 ・各自の必要量を聞き取る(食べきれなくて残す量を減らす)	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・院内庭園、施設外苑の植栽などを管理し、緑の創出と保全管理に取り組んでいる。 ・院内には、感染に配慮した上で、観葉植物を設置し利用者や職員の											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・院内の照明は徐々にLEDを導入しており、省電力化しCO2削減にも取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・職場での水筒ボトルの使用推奨、ペットボトルキャップ運動など、プラスチック製品のリサイクルを促進、廃棄削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・職員の自動車通勤には、2km以上と定めており、自動車の使用機会を減少させることで環境への配慮を行っている。 ・自動車通勤者には、通勤時間帯の交通渋滞を引き起こさないための「左折使用順路(右折を控える)」を推奨している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・院内の照明などは徐々にLEDを導入しており、省電力化しCO2削減にも取り組んでいる。 ・空調のフィルター清掃や管理を行い、省エネ化を図っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・医療サービスの質の維持・向上のため、情報管理部門・安全管理部門を設置し管理している。 ・職員に対しては、会議や研修を通して、安心・安全を保った医療が提供できるように教育を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープや手すりはもちろん、設備の設置位置や利用しやすさなど、利用者の目線に立った検討を行っている。 ・安全管理部門、施設管理部門などで利用者の意見を取り入れながら誰もが利用しやすい環境整備に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・ブレンド米を採用しているが、業者へ熊本産を要望している（2019.2020熊本産） ・イベント食で熊本産の食材を優先して使用している（月1回）。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・職業性腰痛など、安全衛生上の社会的課題に対し、新たな治療「椎間板内酵素注入療法」を国内トップクラスの実績で行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域住民の健康推進のため、医療の立場からの健康教室の開催、自治体・コミュニティーセンターとの連携などに取り組んでいる。 ・職員食数に応じた途上国への寄付を行っている（「Table for two」を通した活動）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的な避難訓練を行っている。 ・院内での非常食の備蓄、防災グッズを常備している。 ・災害対策の委員会を設置し、災害時の対応について検討している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・救急隊との合同勉強会などを通して、お互いの情報・体制を共有し、非常時により円滑に対応できるようにしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・パンデミックを機に、感染災害対策として「フェイスシールド」の感染対策商品を開発した。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・ホームページや広報誌にSDGsへの取り組みを掲載し、普及啓発活動を行っている。 ・職員からSDGsに取り組む内容の意見をもらい、認知されるよう呼びかけている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・小中学校のインターンシップの受け入れ、医療関係の養成校からの実習受け入れ、養成校への講師派遣など学ぶ機会に貢献できるように取り組んでいる。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・オンライン就職説明会などに参加し、県内の学生の就職を支援している。 ・奨学金制度を定めており、看護学生の就学支援・就職支援を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。